

猛暑の影響が多くの業種で

7月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

梅雨明け後の連日の猛暑で明暗が分かれる中、業種によっては明るい兆しがみられるものの、全体としては厳しい業況で、先行き不透明感は続いている。

製造業	食料品		パン・菓子ともに猛暑の影響により売上・収益が悪化している。製麺は乾麺のPB商品の増加が著しく、環境は依然として厳しい状況が続いている。酒造は純米酒・吟醸酒の売上増加が寄与し、全体としても久しぶりの売上増加となった。
	繊維・同製品		婦人服地は例年並みに推移し、和装織物は夏物が順調である。伊勢崎織物は閑散期で売上は低調だが、着物レンタル業者からの受注があり今後に期待している。繊維製品は稼働率が7割程に落ち込み、夏物の販売価格の下落も続いている。
	窯業・土石製品		生コンは県央部の落ち込みが大きく、売上が減少している。コンクリート製品は官庁工事の発注があるまで例年仕事は少ないが、前年より悪化傾向にある。コンクリートブロックは横ばいだが、暑さが続くと工事が減るため今後は懸念している。
	機械・金属		引き続き短納期・単価引下げ要請等があり厳しさが続いている。大根金属は連休に備えた生産に追われ、比較的どの業種も堅調である。プラスチック金型は落ち込みなく安定的に推移している。
	その他の製造業		製材は荷動きが出てきたものの単価下落は止まらず。ゴム製品は円安による原材料値上げの影響で収益が悪化している。紙加工品は猛暑により飲料関連は好調だが、青果物関連に悪影響が出ており、全体的には厳しい状況である。
非製造業	卸売業		卸団地は猛暑やTPP交渉の行方を懸念している。医療機器は景気に左右されにくく、例年並みに推移している。農産物卸は野菜生育不良により出荷量減少、高値が続いている。水産物卸は暑さにより魚の売上に大きな影響が出ている。
	小売業		家電小売は猛暑のためエアコン等の夏物商品が好調である。燃料小売価格は前年比11~12円/ℓ下落している。中古車オークションは売上・収益が増加するも成約率は前年よりも減少している。商店街は暑さのため外出を控える消費者が目立っている。
	サービス業		温泉旅館は群馬プレミアム宿泊券の利用は地域差があり、四万温泉は中之条町のふるさと納税記念品「感謝券」の利用が増加傾向にある。不動産取引は人口流失地域では、分譲価格の下落傾向がみられる。
	建設業		建築工事は仕事量の減少を懸念している。防水工事は公共工事が少ない。電気工事は受注が増加しているが、猛暑により作業効率が低下している。塗装工事は県営住宅の改修等があり、仕事はあるが下請けのため収益は厳しい状況が続いている。
	運輸業		猛暑が続き、飲料関係の荷動きが好調である。野菜は長雨後の高温で根腐れや降ひょう被害で低調に推移している。小口輸送は建材・電子部品関係に少し動きが見られたが、全体的には売上・件数ともに減少している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 工業生産指数(季節調整値) 114.0(前月比+5.9%)「県統計課・6月」
- 販売電力量 115,571万KWh(前年同月比▲1.4%)「東電群馬支店・6月」
- 住宅着工戸数 1,033戸(前年同月比+2.0%)「県建築住宅課・6月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.80倍・有効1.26倍「群馬労働局・6月」
 - 大型小売店販売額 216億円(前年同月比▲1.0%)「経済産業省・6月」
 - 消費者物価指数(全国) 103.8(前年同月比+0.4%)「総務省統計局・6月」
- (鉱工業生産指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)